



学生サークルによる手遊び

補助増額は難しいですが、関係者の意見を聞いていきます。幼稚園への新たな補助(健康診断)の創設は考えていません。

病児・病後児保育事業実施の経過は

問 前原 病児・病後児保育事業の実施は、次世代育成支援行動計画で平成二十一年度となっている。経過は。

答 事業開始前はハードルが高く、さらなる研究を進めます。

第二子以降の保育料は無料に

問 高橋 保育園・幼稚園

等二人以上入所している場合、第二子以降の保育料を無料にできないか。

答 国の制度に合わせて、二人目は半額です。さらに市独自の施策として、三人目以降は無料です。国の保育料基準額は所得に応じて七段階

ですが、市は二十二段階に分け、保護者の負担の軽減を図っています。

非正規職員の待遇改善

問 山口 市役所で働く非正規職員は、職員数全体の三分の一を占めている。市民への良質な公共サービスを確保するために、非正規職員の賃金や処遇を改善すべき。

答 保育所では、運営上正規職員だけでは支障が生じており、臨時的任用職員による力が欠かせません。待遇面の改善については必要性を感じており、努力していきます。

安

全

災害時における在宅要援護者の安全誘導

問 山口 災害時における高齢者や障がい者、乳幼児、外国人などの要援護者に対する避難誘導の計画を促進すべきではないか。

答 要援護者の情報収集は、民生委員会を中心に人数の把握をします。災害時は、市が町会、自治会や自主防災組織の協力を得ながら、救助を行ないます。地区の特性に沿った地区防災計画は、現在二十三の組織で作成していますが、今後さらに促進していきたい。

市道拡幅と路面標示で対策を

問 田村 大井中学校前市道の一歩狭い場所、トレイルがバスと対面時にガードレールを突き破り、民家の壁に突っ込むという事故があった。もし、一時間早ければ、通学路であり、大惨事となっていた。この市道の拡幅や路面

標示による安全対策を。
答 拡幅は財政的に無理です。路面標示による安全対策をしていきます。

大井西中北側通学路に歩道を

問 堀口 大井西中学校北側通学路について安全を確保するため、歩道の設置を。
答 車道と歩道の分離は安全確保に有効であり、指摘の箇所について何らかの対策を検討していきます。

発砲事件のその後

問 松尾 四月一日に、大井武蔵野で起きた発砲事件による防犯対策は。
答 暴力団組幹部が射殺されました。県警で鋭意捜査とともに、市内の巡回を実施していただいております。

安心してスポーツ指導ができるように

問 新井 ボランティア指導者へのスポーツ保険に補助ができないか。
答 体育協会に補助をしているので、ボランティア指導者は、その一部を活用してほしい。

まちづくり

NTT社宅跡地の開発問題

問 前原 隣接する住宅から、マンション建設位置を離すようにと要望が出ている。通学路の問題とあわせ、良好な住宅環境の整備を。
答 開発指導要綱の事前協議



NTT社宅跡地附近の歩道

皿として、寄附条例の整備を。
答 寄附の目的等、幅広く検討し、「まちづくり寄附条例」の制定を検討していきます。

実施計画収支の改善策

問 高畑 市の十年間の指針となる総合振興計画基本構想・前期基本計画が策定され、三か年実施計画も策定された。実施計画では財政フレーム上

の収支の赤字が見込まれている。改善に向けての対策は。
答 歳入面では、遊休市有地の売却、収納率の向上、受益者負担の適正化等、財政安定化策を推進し、歳出面では行政評価制度の導入による既存事業の再構築、民間活力の導入、公共施設の適正配置による統廃合や民間委託等、執行段階での歳出削減に努めます。

環

境

駅周辺に路上喫煙防止地域を指定しては

問 高橋 駅周辺の美化と安全確保のために、ポイ捨て・路上喫煙防止地区を指定していく考えは。

答 駅周辺の環境は、そのまの顔ともなり、きれいで明るい環境をつくることは大変重要です。喫煙防止条例で規制するのも方法ですが、市民や市を訪れる方々への働きかけも重要です。「環境にやさしいまちづくり推進」の中で、環境美化活動や啓発活動に取り

耕作放棄地対策の今後

問 岸川 耕作放棄地対策について、当市の今後の計画は明らかになっているのか。また、対策として市民体験型農園を取り入れる考えは。
答 五年以内をめどに現状把握の調査を予定しています。市民体験型農園は関係者と話し合っています。

に基づき、住宅環境に配慮した計画を進めていると考えています。通学路は、新たな通学路の設定も含め、整備予算が確保された時に工事を進めます。
問 開発による車の通過量の増大は必至。交通安全対策や、集会所、保育所、病院など、人口増に対応する公共施設の整備を開発業者に指導すべき。
答 子育て施設の設置など、市からも要望しています。地域住民にも理解が得られる開発になるよう指導しています。

富士見川越有料道路の無料化と交通安全対策

問 足立 平成二十一年八月の無料化に伴い、市内への車両流入変化に対する交通安全対策を。
答 安全対策は、バイパス無料化後に、交通量調査で変化を見て行ないたいと思います。



有料道路料金所とさぎの森小体育館を臨む

二五四号歩道拡幅事業と亀久保交差点改良工事等

問 有山 この事業の進捗状況及び補償交渉は誠意をもって。

答 国道二五四号歩道拡幅事業は、今年度二年目の事業であり、今年から地権者交渉に入ります。亀久保交差点改良事業は今年からの事業で、建物補償調査及び不動産鑑定を委託し、予算内で建物補償を実施します。地権者とは密接に打ち合わせを行ない、できるだけ負担を軽減するように交渉をします。

問 市道第二一六七号線(南

寄附条例の整備を

問 堀口 寄附という行為で行政とかかわっていくことは、協働のまちづくりを推進していく一つの方策だ。その受け

パブリックコメント制度化と今後

問 小川 制度化したこと、今後の進め方は。平成二十一年度制定検討の(仮)まちづくり基本条例との関連は。
答 政策形成過程の公正と透明性を確保していきます。基本条例策定に向けて、市民参加の手法が整ったものと考えています。